

# プレスリリース

2017年2月16日



Web インテグレーション総市場の売上規模、2015年度 1120 億円前年比 113.9%で推移、2016年度は、前年比 113.4%の 1270 億円に達する見込みで、2017年度は 1450 億円にまで拡大と予測

また、2016年度から 2020年度まで年平均 14.5%の成長率で推移し、2020年度には 2000 億円を突破し、2200 億円市場に

「Web インテグレーション&ネット広告プラットフォーム市場の現状と展望 2017年版」発刊

情報・通信分野およびネットビジネス分野の市場調査機関である株式会社ミック経済研究所（本社：東京港区、社長：有賀 章）は、Web インテグレーション市場とネット広告のアドテクノロジープラットフォーム市場の 2 市場の実態を捉えたマーケティング資料「Web インテグレーション&ネット広告プラットフォーム市場の現状と展望 2017年版」を 2017年1月16日に発刊した、と発表しました。

この調査は、主要 Web インテグレーターおよびアドテク・プラットフォーム事業者に対し面接取材を中心に調査を実施、主要企業の個別実態をベースに、Web インテグレーション市場の動向を推定した資料となっており、Web インテグレーション調査については、今回が 10 版目の発刊となります。

調査結果の概要は以下の通りです。

## <Web インテグレーション市場>

### ・Web インテグレーションの定義

本資料で定義する Web インテグレーション市場とは、Web サイト、モバイルサイトの戦略立案、設計・制作から運用・更新と上流から下流まで全てのソリューション提供を行う業務と定義している。

2015年度の Web インテグレーションの総市場規模は、前年比 113.9%の 112,000 百万円となり、2016年度は前年比 113.4%と引き続き好調に推移し 127,000 百万円となる見込みである。また、

2017年度に入っても東京オリンピック需要や関連するインバウンド向け新規需要、さらには電力自由化など新市場向け需要などが貢献し、総市場規模は前年比 114.2%の 145,000 百万円にまで拡大すると予測される。

さらに、このまま順調に市場推移すると仮定して、東京オリンピックの開催される 2020 年度までの市場推移を予測すると、2016 年度以降年平均成長率 14.5%で市場は拡大し 2020 年度には 220,000 百万円と 2000 億円の大台を突破することが予想される。

ただ一方で 2021 年度以降については、マスキリエイティブやマスコンテンツの市場は、AI 等の普及により制作の自動化が急速に進むことも考えられる。自動化が進めば、今までどのように手組みしなくても、勝手にコンテンツが作れてしまうため、劇的に工数が削減できるようになる可能性も出てくる。そうすると、コンテンツ制作が中心であった Web インテグレーションの市場の伸びにブレーキがかかる恐れも出てくる。ブレーキどころか市場が縮小する可能性も出てくるかもしれない。

市場が縮小するということは、最悪の場合、Web インテグレーションを提供するベンダー各社が淘汰の時代に入っていくということを意味している。一次請けの協力会社としてアンダーで仕事を受けている中小のベンダーは勿論、一次請けベンダーでも独自の技術なり能力といった得意技を持っていなければ淘汰される恐れも十分にあるのではなかろうか。

なお、同資料の体裁は A4 版 286 頁のファイル製本で、価格は 190,000 円（消費税抜き）です。PDF 版 230,000 円、CD-ROM 版（エクセルベース）380,000 円もご用意しております。

**※報道関係からのお問合せは、以下の担当にてお願いいたします。**

**株式会社ミック経済研究所**

担当：竹田 啓一

東京都港区芝 4-7-8 芝サンエスワカマツビル 10F

TEL：03-5443-2991

E-mail：[ktakeda@mic-r.co.jp](mailto:ktakeda@mic-r.co.jp)

URL：[www.mic-r.co.jp](http://www.mic-r.co.jp)

### 【Web インテグレーション市場推移】

